



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



2020年7月31日
朝刊 東部版

記事を読んで、問いに答えましょう。



パソコンを通してマスクの寄贈をネパールに伝える関係者
＝三島市

マスク6500枚ネパールへ GW三島オンラインで贈呈式

衛生環境の整備などネパールで支援活動を続けている三島市のNPO法人グラウンドワーク（GW）三島は8月中をめどに、全国から寄せられた布マスクなど約6500枚とフェースシールドなどの支援物資を現地に送る。29日にオンライン会議システム「Zoom（ズーム）」で三島とネパールをつなぎ、贈呈式が開かれた。

現地のネパール日本友好協会によると、同国の新型コロナウイルス

ル感染患者数は約5万人。26日にロックダウン（都市封鎖）が解除され、今後は感染がさらに拡大する可能性もあるという。コロナ禍で徐々にマスクを着用する習慣も広がり、贈呈式では関係者が「マスクは手に入りにくく、寄付はすごく助かる」と感謝した。

GW三島は今後、ネパールへの帰国者などに引き渡して現地の子供らに届ける予定。渡辺博専務理事は「まずは命を守ってもらうことが第一。日本全国から集まった善意は必ず送る」と約束した。

①ネパールでマスクが必要になったのはなぜか。

②ネパールに送った布マスクやフェースシールドなどの支援物資はどのようにして集めたものか。

③支援物資の贈呈式をオンラインで行ったのはなぜか。

④新型コロナウイルス感染症の問題は世界の国々が力を合わせて解決していく必要がある。その理由を「現代社会の人々の交流は」の書き出しで説明しなさい。

現代社会の人々の交流は（ ）

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（中学校／社会、総合）



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



2020年7月31日
朝刊 東部版

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例



パソコンを通してマスクの寄贈をネパールに伝える関係者
＝三島市

マスク6500枚ネパールへ GW三島オンラインで贈呈式

衛生環境の整備など
ネパールで支援活動を
続けている三島市のN
PO法人グラウンドワ
ーク（GW）三島は8
月中をめぐり、全国か
ら寄せられた布マスク
など約6500枚とフ
ェイスシールドなどの
支援物資を現地に送
る。29日にオンライン
会議システム「Zoom
m（ズーム）」で三島
とネパールをつなぎ、
贈呈式が開かれた。
現地のネパール日本
友好協会によると、同
国の新型コロナウイルス

ルス感染者数は約5
万人。26日にロックダ
ウン（都市封鎖）が解
除され、今後は感染
がさらに拡大する可
能性もあるという。コ
ロナ禍で徐々にマス
クを着用する習慣も
広がり、贈呈式では関
係者が「マスクは手に
入りにくく、寄付はす
ごく助かる」と感謝し
た。

GW三島は今後、ネ
パールへの帰国者な
どに引き渡して現地
の子供らに届ける予
定。渡辺博専務理事
は「まずは命を守っ
てもらうことが第一。
日本全国から集まった
善意は必ず送る」と約
束した。

①ネパールでマスクが必要になっ
たのはなぜか。

（例）新型コロナウイルスの感染者数が増え、マスクを着用する習慣も広がってきたが、マスクは手に入りにくい
ため。

②ネパールに送った布マスクや
フェイスシールドなどの支援物資は
どのようにして集めたものか。

**（日本）全国から
寄せられた寄付**

③支援物資の贈呈式をオンラインで行ったのはなぜか。

新型コロナウイルス感染症予防（拡大防止）のため。

④新型コロナウイルス感染症の問題は世界の国々が力を合わせて解決していく必要がある。その理由を「現代社会の人々の交流は」の書き出しで説明しなさい。

現代社会の人々の交流は（ **全世界に広がっており、新型コロナウイルス感染症の問題も1国だけでは解決できないため。** ）

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（中学校／社会、総合）